

環境シンポジウム 2020

“脱炭素社会”に求められる住まいとまちづくり

趣旨

私たち一般社団法人プレハブ建築協会は、安全・安心で快適な住まいと持続可能な社会の実現を目指し、環境に配慮した住まいとまちづくりに取り組み、エネルギーをより賢く効率的に利用できる、スマートハウスやスマートシティの普及を推進しています。

そうしたなか、2015年に採択された「パリ協定」では、地球の平均気温上昇を2℃未満に抑えるために、今世紀後半までにCO₂排出量を実質ゼロとすることが合意され、昨年10月に発表されたIPCCの「1.5℃特別報告書」では、それらをさらに前倒し「2050年までに実質ゼロ」とする必要性を明らかにしました。一方、国内においても、毎年のように豪雨災害が頻発するなど、気候変動の影響がますます深刻さを増すなか、本年6月には「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」が策定され、始動したところです。

本シンポジウムでは、“脱炭素革命”とでもいうべき「パリ協定」以降の世界の動きを再確認し、脱炭素社会に向けて私たち住宅産業界の担うべき役割を今一度考え直す契機とするとともに、会員各社の先導事例を共有し住宅市場における工業化住宅の魅力を再考します。

7 エネルギーをみんなに
もってクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



日 時 2020年1月23日 木曜日 13:00～16:25 (受付12:30)
会 場 住宅金融支援機構本店「すまいるホール」 (東京都文京区後楽1-4-10)
参加費 1,000円 (税込) ※当日会場受付でお支払い下さい (領収書をお渡し致します)
お申し込み 以下のWEBサイトからお申し込み下さい ※定員250名 (どなたでもご参加いただけます)
<https://purekyo.smktg.jp/public/seminar/view/41>

特別講演

動き出す！世界の“脱炭素革命”

－世界の潮流と日本の戦略、そして住宅業界への期待－



高村 ゆかり 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授

島根県出身。1989年京都大学法学部卒業、1997年一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。1998年静岡大学人文学部法学科助教授、2004年龍谷大学法学部助教授、2006年同大学同学部教授、2011年名古屋大学大学院環境学研究科教授、2018年東京大学サステイナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 教授、2019年4月から現職。

スケジュール

13:00～13:10	開会あいさつ	(10分)
13:10～14:25	特別講演「動き出す！世界の“脱炭素革命” －世界の潮流と日本の戦略、そして住宅業界への期待－」	(75分)
14:25～14:40	(休憩)	(15分)
14:40～15:00	環境行動計画「エコアクション2020」の進捗報告	(20分)
15:00～16:15	事例発表	(75分)
	・パナソニック ホームズ 環境にやさしく、健康価値を高めた「ゼロ・エネルギー・ハウス」	(25分)
	・積水化学工業 家庭用蓄電池を用いたVPP実現への取り組み	(25分)
	・旭化成ホームズ レジリエンスへの取り組み (トータルレジリエンス)	(25分)
16:15～16:25	閉会あいさつ	(10分)

主催：一般社団法人 プレハブ建築協会 住宅部会 環境分科会

お申し込み

お申し込み 以下の囲みに記載の申込 WEB サイトからお申し込み下さい。
定員 250 名 どなたでもご参加いただけます
締め切り：1月20日（月） ※先着順で定員に達し次第締め切らせていただきます。

参加費 1,000 円(税込) ※当日会場受付でお支払い下さい（領収書をお渡し致します）

会場案内図



【申し込み方法】

■ 環境シンポジウムは以下の申込WEBサイトからお申し込み下さい。

<https://purekyo.smktg.jp/public/seminar/view/41>

申し込み後『環境シンポジウム2020お申し込み受付・受講票発行のお知らせ』メールがご指定のメールアドレスに送信されます。メールに記載のURLから受講票をプリントアウトし、当日会場受付でご提出下さい。

<お問合せ>

一般社団法人プレハブ建築協会環境シンポジウム事務局

E-mail : jyutaku@purekyo.or.jp (メールの件名を「環境シンポジウム問合せ」として下さい)